

■ 壬生町のバランスシート(平成 19 年度) 平成 20 年 3 月 31 日現在

借方

(単位:円)

[資産の部]

1.有形固定資産	(全体)	(1人当たり)
(1) 総務費	6億6,973万	16,883
(2) 民生費	8億6,700万	21,856
(3) 衛生費	37億8,639万	95,450
(4) 労働費	2,943万	742
(5) 農林水産業費	6億312万	15,204
(6) 商工費	12億9,555万	32,659
(7) 土木費	200億6,154万	505,723
(8) 消防費	1億6,280万	4,104
(9) 教育費	127億7,157万	321,953
(10) その他	2191万	552
有形固定資産合計	402億6,904万	1,015,126
(うち土地)	144億4,911万	364,242
2. 投資等	(全体)	(1人当たり)
(1) 投資及び出資金	5億2,122万	13,139
(2) 貸付金	8,858万	2,233
(3) 基金	28億5,209万	71,897
(4) 退職手当 組合積立金	6億6,924万	16,871

貸方

(単位:円)

[負債の部]

1. 固定負債	(全体)	(1人当たり)
(1) 地方債	60億4,860万	152,477
(2) 債務負担行為	0万	0
(3) 退職給与引 当金	24億3,056万	61,271
固定負債合計	84億7,916万	213,748
2. 流動負債	(全体)	(1人当たり)
(1) 翌年度償還 予定額	7億8,502万	19,789
(2) 翌年度繰上 充用金	0万	0
流動負債合計	7億8,502万	19,789
負債合計	92億6,418万	233,537

[正味資産の部]

	(全体)	(1人当たり)
1.国庫支出金	43億6,116万	109,939

投資等合計	41億 3,113万	104,140
-------	------------	---------

3. 流動資産	(全体)	(1人当たり)
---------	------	---------

(1) 現金・預金	21億 7,340万	54,788
(2) 未収金	8億 8,428万	22,291

流動資産合計	30億 5,768万	77,080
--------	------------	--------

資産合計	<u>474億 5,785万</u>	<u>1,196,346</u>
------	--------------------	------------------

2. 都道府県 支出金	9億 5,904万	24,176
----------------	-----------	--------

3. 一般財源等	328億 7,347万	828,694
----------	-------------	---------

正味資産合計	381億 9,367万	962,809
--------	-------------	---------

負債・正味資産 合計	<u>474億 5,785万</u>	<u>1,196,346</u>
---------------	--------------------	------------------

※債務負担行為に関する情報

① 物件購入に係るもの	0円
② 債務保証又は損失補償に係るもの	0円
③ 利子補給に係るもの	360万円

■ バランスシートからわかること

平成20年3月31日現在で、壬生町の総資産は合計で約475億円となりました。一方、負債は全体で約93億円、その差である正味資産は約382億円です。

1. [資産の部] の状況

資産の部では、有形固定資産(建物、土地等)が約403億円で資産全体の約85%を占め、残りが基金(積立金)、貸付金、未収金などで約72億円となっています。

有形固定資産を行政目的別に見ると、道路、公園などの土木費が約201億円(50%)と最も多く、次に小中学校や公民館、図書館などの建設事業費を含む教育費が約128億円(32%)、清掃センター建設や最終処分場建設などを含む衛生費が約38億円(9%)となっています。

2. [負債の部] の状況

負債の部では、町債(借入金)の償還が固定負債、流動負債を合わせて約68億円で負債全体の約74%退職給与引当金が約24億円で約26%の割合となっております。

3. [正味資産] の部の状況

正味資産の部では、町が保有している資産のうち、町民の皆様からの税金等により形成された一般財源等は約329億円で、正味資産全体の約86%にあたります。また、町有資産のうち国・県支出金により形成された金額は約53億円となっております。

■ バランスシートを活用した財務分析

● 社会資本形成の世代間負担比率

社会資本形成の結果を表す有形固定資産のうち、正味資産によって形成されている比率です。正味資産は、主に、今までの世代の負担によって形成された社会資本の額を指しています。他方、負債は将来の世代の負担によって形成された社会資本の額を指します。したがって、その依存割合が世代間負担の指標となります。

正味資産合計 / 有形固定資産合計 → 38,194 百万円 / 40,269 百万円 = 94.8%

(これまでの世代による社会資本形成の比率、高いほど良い)

負債合計 / 有形固定資産合計 → 9,264 百万円 / 40,269 百万円 = 23.0%

(後世代による社会資本形成の比率、低い程後世代の負担が少ない)

● 予算額対資本比率

歳入総額に対する資産の比率で、資産形成のために何年分の歳入が充当されたかを示すものです。

資産合計 / 歳入合計 → 47,458 百万円 / 11,116 百万円 = 4.27 年分

● 正味資本比率

企業会計で使用される自己資本比率に相当し、この比率は保有する総資産のうち返済義務を負わない部分がどの程度あるのかということを示す指標です。

正味資産合計 / 負債・正味資産合計 → 38,194 百万円 / 47,458 百万円 = 80.5%